



6日の「なかま発表会」にはたくさんの方にお越しいただき、感想もお寄せいただきありがとうございました。当日はいつもと違う雰囲気に登園を渋ったり「いや!」と言っていたたまご・ひよこさんたちも、出番では気持ちを切り替えていました。普段なら泣いてしまうことがあってもおかしくない場面でしたが、今年は不思議そうな顔をしつつもステージでいつも通り楽しむ姿が見られました。うさぎ・きりん・らいおんさんは、発表会が近づくにつれて楽しさと緊張、そして「見てもらいたい」という気持ちが行き来し、心の中でさまざまな感情が育っている様子が見られました。

8日はみんなで他のクラスのプログラムに参加し、発表会ごっこを楽しみました。



たまご組・ひよこ組・うさぎ組が育てたサツマイモは全部で22kgありました。11月26日に焼き芋にして、おやつにいただきました。たまご組とひよこ組はサツマイモを洗い、うさぎ組・きりん組・らいおん組はたっぷり濡らした新聞紙とアルミホイルでサツマイモを包み、おき火を作ったドラム缶に入れるところまで行いました。近くに行くと熱いので、自分たちなりに気をつけている様子うかがえました。

自分たちで育て準備した焼き芋は、美味しさが格別で、じっくり味わった子どもたちです。

小池工務店様から薪用の木をいただいたため、お礼にらいおん組が焼き芋を届けました。お渡しした際「うわ〜っ」と喜んでくださったそうです。子どもたちが嬉しそうに報告してくれました。

暖かく着るコツ

子どもは冬でも汗をかきます。発熱素材など化学繊維の下着は暖かいのですが、水（汗）を蒸発しにくい特性があるため、汗で体が冷えたり痒み等のトラブルが起きたりします。汗を吸水する素材がお勧めです。

薄手の服を重ね着することにより服と服の間に空気の層が出来、暖かさを感じやすくなります。

寒さが厳しくなってきましたが、もともと厚着では活発に動きません。上手に衣服を着るコツを押さえれば、薄着でも平気！ 寒さに負けず、元気にあそべますね。

薄着であったかのコツ

肌着を着る
(綿100%がお勧め)



+



重ね着する
(薄手の長そでシャツなど)



襟やそで口が締まった服を選ぶ

ズボンの中にシャツを入れて体温を逃がさない

外に出るときはベストやジャンパーなどで調節する

